

HELLO



Vol.8

令和2年8月14日 発行

袋井市役所総務部国際課国際交流係

TEL 0538-44-3138

FAX 0538-43-2132

MAIL international@city.fukuroi.shizuoka.jp

FROM FUKUROI



パトリシアさん 出身：フィリピン
所属：FETJ GLOBAL 静岡代表、袋井国際交流協会理事、
磐田市教育委員会 ALT



Mabuhay(マブハイ-フィリピン語の挨拶)！
Patricia Leonelle Badival-Yamashita (パトリシア・レオネル・バディヴァル・ヤマシタ)と申します。「夏の首都」と呼ばれるフィリピンのバギオ市の出身です。磐田市教育委員会のALTとして働いており、袋井のサンライフでも英会話教室を担当しています。



「グローバルキッズワークショップ」の様子

フィリピンは 6,471 の島と多くの美しいビーチに恵まれていることをご存知ですか？ 絶景のビーチを見るために有名な島々に行く必要がなく、フィリピンのどこにでもあります。フィリピンの夏といえば、ビーチに行くことと友人と集まり、ピクニックすることです！ フィリピン人は集まって、食べ物をシェアするのが大好きです。フィリピンでよく聞くフレンドリーな挨拶の1つは、「クマインナポバカヨ (もう食べましたか)？」です。



フィリピンの白ビーチの一つ

フィリピンの夏に愛されるおやつは「ハロハロ」と呼ばれるものです。日本のかき氷と似ていますが、それはウベ (紫ヤム)、甘豆、ココナッツストリップ、タピオカボールなど色々な種類の食べ物が入っていて、とても美味しいです！

14年前袋井に来てから今まで、家族の人に支えられ励まされています。言葉では感謝の気持ちを表せなく、「恩返し」は感謝を表す一つだと思います。そのため、袋井国際交流協会 (FIFA) などのコミュニティ活動や組織に参加しています。昨年は「グローバルキッズワークショップ」の企画に参加し、参加した子供や大人の間でより良い理解を深めることができました。また、Filipino English Teachers in Japan-Global (FETJG) の静岡代表を務めています。この組織は、研修や支援を通して、日本で優秀な英語教師を養成することを目的としています。フィリピン人だけではなく、いろいろな国籍のメンバーがいます。私が最初英語の先生になりたいと思っていたときに、先輩たちが支援をしてくれました。今私も同じように、もっと多くの人を助けたいと思っています。

来年の夏にどこかに旅行できること、また多くの人と出会えることを祈っています。是非フィリピンに足を運んでください。ちなみにフィリピンの夏は3月から5月です。



今年最初のイベントを開催できました！新型コロナウイルスの影響で、オンラインで実施しましたが、楽しい時間を過ごせました。これからのイベントを楽しみしてください！(´▽`)

8月1日(土)に、「Zoom・オンライン異文化カフェ」を開催しました。市の国際交流員2人のほか、日本人5人と外国人4人(アイルランド、アメリカ、インド、フィリピン)が自分の家から参加しました。

参加者は新型コロナウイルスによる新しい生活様式のことや旅行に行きたいところなど、いろいろな話を、英語や日本語で楽しく話しました。

その後、アイルランドとアメリカに関するクイズも行いました。日本の「小泉八雲」という作家は、実際はアイルランドの人だということに、おどろいた方もいました。

約1時間という短い時間でしたが、とても楽しい時間を過ごしました。次の機会には、みなさんもぜひ参加してください。